

福井県公安委員会 開催概要

平成22年12月17日開催「定例公安委員会」



会議状況

1 個別決裁

- (1) 交通信号機の設置管理委任
大飯郡おおい町尾内地籍国道27号交差点の信号機の設置管理委任の申請を受理した旨の報告があり、これを了承した。
- (2) 集団行動に関する許可事務専決状況報告
本年11月中の集団行動に関する許可事務専決状況の報告を受け、これを了承した。
- (3) 警察職員等の援助要求
三重県公安委員会から内閣総理大臣・菅直人の伊勢神宮参拝に伴う警察職員等の援助要求を受け、これに同意した。

2 包括的案件

〈審議事項〉

- (1) 福井県警察改革10年の主な取組み
県警察から、福井県警察改革の10年間における主な取組事項について説明があり、審議の結果、原案のとおりとすることを了承した。
委員から「事件事故の発生件数のほか情報公開、防犯ボランティアの活動状況など、この10年の各般にわたる実績は確実に向上している。今後とも警察改革の精神を保持しながら各種施策を着実に継続してほしい。」との発言があった。

〈報告事項〉

- (2) 売春防止法違反事件の検挙
県警察から、本年10月18日に本県内で発生した売春防止法違反事件の被疑者を逮捕した旨の報告があった。

委員から「被害者の心的被害の回復のためカウンセリングなど保護対策をしっかりと願う。」旨の発言があった。
- (3) 福井県防犯モデル一戸建て住宅認定制度の構築
県警察から、本年12月20日から運用開始する福井県防犯モデル一戸建て住宅認定制度の概要及び普及方策について報告があった。

委員から「全国初の取組みということで大変期待している。申請はどの段階で行われ、審査で問題がある場合はどのように施主に通知されるのか。」との確認があり、県警察から「申請は住宅の設計段階で行われるもので、構造、設備等が審査基準に適合しない場合は書面で施主等に通知されることになる。」との説明があった。

委員から「『防犯モデル戸建て住宅』の必要性や重要性を広報することにより、住宅建築に対する防犯意識は自然に向上すると思う。金融機関では既にエコ対策やバリアフリーなどによる金利引下げを導入しており、本制度にも適用される公算は高いと思う。」との発言があり、県警察から「住宅ローン等を利用する者にとっては、金利の0.1%引き下げでも大きな関心を持っていただけたと思う。」との説明があった。

(4) 時間制限駐車区間規制の現状と見直し

県警察から、パーキング・メーター等時間制限駐車区間規制の現状及び見直し方針について報告があった。

委員からパーキング・メーターの撤去費用について確認があり、県警察から「撤去には1基あたり約10万円必要であり、総額で約400万円を見込んでいる。」との説明があった。

委員からパーキング・メーター等の駐車料金を支払わない場合の措置について確認があり、県警察から「警告書の貼付や指導取締りなどにより駐車料金の未納防止を図っている。」との説明があった。

3 運転免許の処分関係

本日（12月17日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取8件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。